



三島市庁舎のあり方を考える

市民会議

(第4回)

2020年11月7日(土)
13:30~15:30



三島市

本日の進行内容（プログラム）



■第4回（11/7）のプログラム

時間	次第	内容
13:30～ (5分)	挨拶	主催者挨拶
13:35～ (20分)	振り返り 趣旨説明	第1～3回市民会議の振り返り 第4回市民会議の開催内容の説明 ・本日のワーク：市民はどのように庁舎整備とかかわるべきか？ ・今後の整備検討の中での関わり方について確認します。
		庁舎整備との関わり方（いつ・どんな方法）を確認します。
13:55～ (25分)	ワーク1	「庁舎整備 計画の策定段階」での関わり方を教えてください。 ・参加必要性/方法/内容？
14:20～ (25分)	ワーク2	「設計者の選定・設計段階」での関わり方を教えてください。 ・参加必要性/方法/内容？
14:45～ (25分)	ワーク3	「庁舎の管理運営段階」等での関わり方を教えてください。 ・市民利用したい機能・開放すべき場所/利用方法 など
15:10～ (15分)	発表	グループ発表（ワーク1～3） ・各班より、ワークで確認した成果を発表いただき、全員で共有します。
15:25	閉会	閉会挨拶・次回開催内容の報告 (アンケートのお願い)



- 三島市よりご挨拶申し上げます。

第1回市民会議の振り返り



■開催概要

- 2020年2月1日（土）13：30～16：00
- 参加者数：36人
- テーマ「現庁舎を見て、知ってほしい」
- 実施内容

- 本庁舎、大社町別館を見学し、現状を調査。
- 見学後、現庁舎の問題点を確認しあう。
- 庁舎の建て替えの必要性を共有しあう。

■ワークショップ風景



- 見学後のワークショップ
- 現庁舎の課題を出しているところ。



■庁舎を見学し、現状を調査しました。



- 議場の見学
- 稼働状況等を確認しました。



- 市民窓口の見学
- 窓口のプライバシーの確保状況など確認しました。

限られた時間内に、庁舎の現状を確認いただきました。



- 成果の発表風景
- 各グループの検討成果を発表いただきました。

第1回市民会議の振り返り



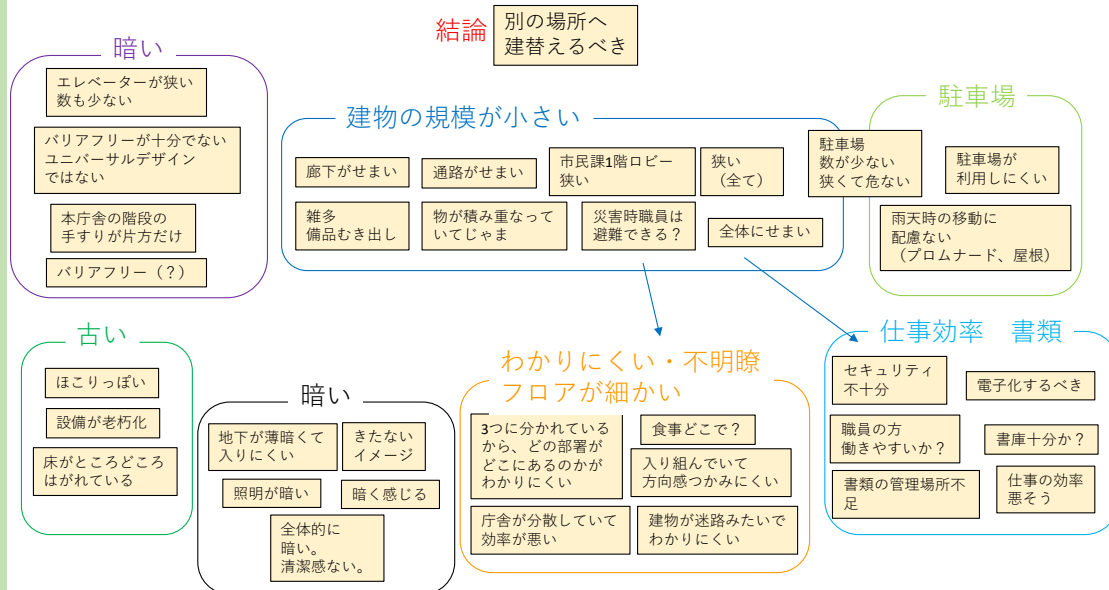
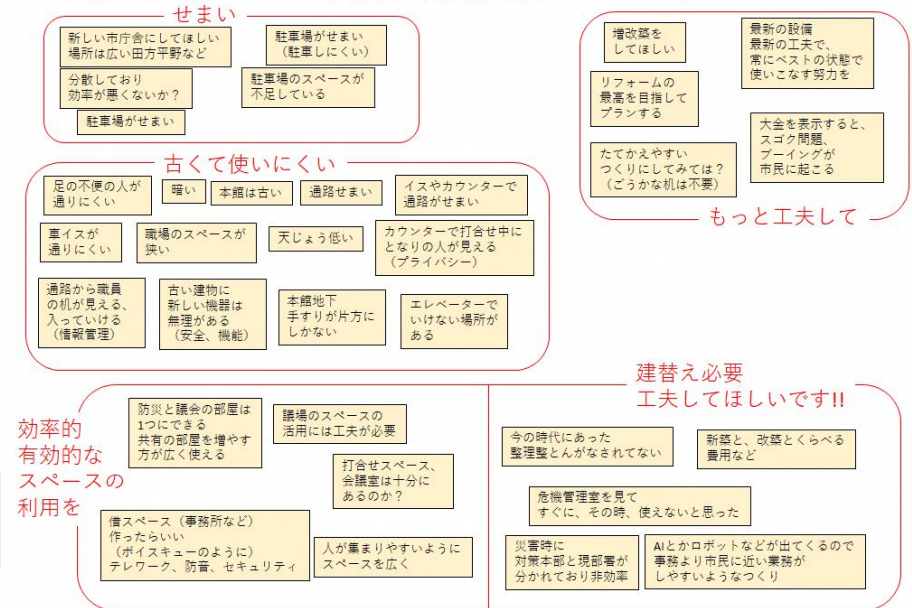
■ 検討の成果

- 見学して分かったこと、庁舎の問題点について意見を出し合い、成果をまとめていただきました。
- 今の庁舎は「迷路のようだ」「せまい」「プライバシーが不完全」などの問題を指摘されました。
- 検討成果として「庁舎の建て替えが必要か？」メンバーの意見を確認いただきました。

ある班の成果です。
今の庁舎は、わかりにくい、狭いなどの問題が指摘されました。

ワーク:見学して分かったこと。庁舎の問題点を教えてください。

ワーク:見学して分かったこと。庁舎の問題点を教えてください。



■ 各グループの結論

	結論
1	別の場所へ建て替えるべき
2	もう少し勉強させて!
3	建て替え希望6名 場所・予算上限の検討が必要
4	多くの建て替え理由あり
5	建替は必要、ただし災害本部や集約すべき
6	建替え必要 (工夫してほしいです)

- 多くのグループで、**建て替えは必要との意見でまとまりました。**
- 場所、予算上限、災害対策本部の集約など、工夫すべき点、勉強すべきことがあるなどの付帯条件をいただきました。

第2回市民会議の振り返り



■開催概要

- 2020年10月3日（土）13：30～15：30
- 参加者数：26人（5グループ）
- テーマ「庁舎の整備方法の検討」
- 実施内容

- ・ 整備手法（新築or大規模修繕）を検討しました。
- ・ 場所の選定、どこにあるべきか検討しました。

■ワークショップ風景

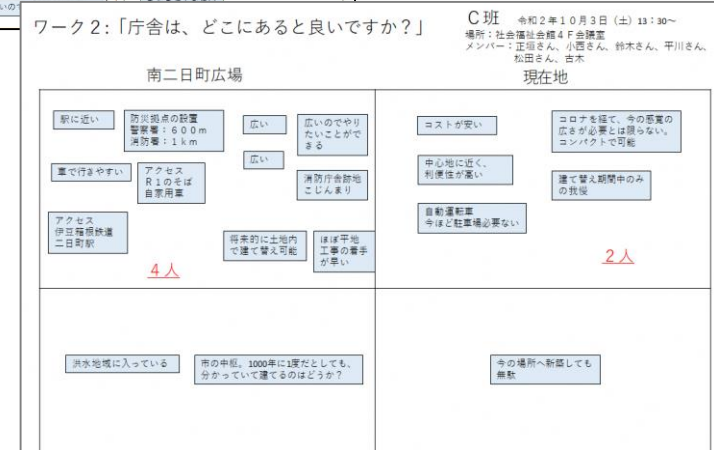
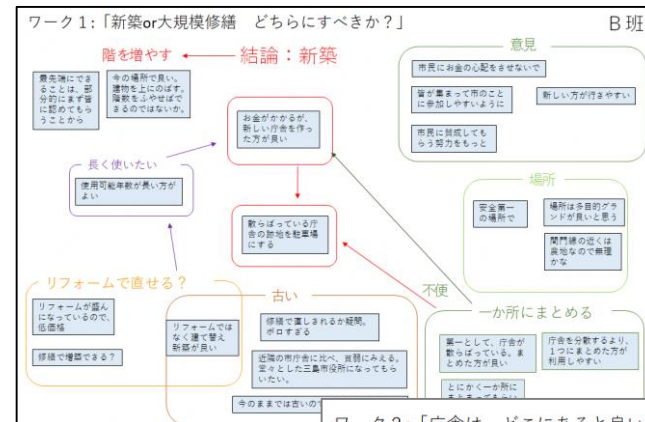
○ワーク風景
・ 意見をとりまとめているところ。



○発表
・ とりまとめた成果を発表しているところ。

■検討の成果

- 整備手法と庁舎の場所について検討をしていただきました。
- 整備手法は、ほとんどが「新築」すべきでまとまりました。場所については、「現在地」と「南二日町広場」で意見が大きく分かれました。



- 2回目の会議で、現在地もしくは南二日町広場等を候補地に、新築で整備する手法が望ましい方向性が定まりました。

第3回市民会議の振り返り



開催概要

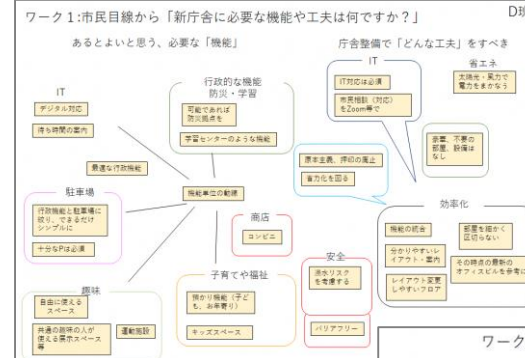
- 2020年10月17日（土）13：30～15：30
- 参加者数：28人（5グループ）
- テーマ「新しい庁舎に求めるものは何か？」
- 実施内容

- 必要な機能や工夫点を確認しました。
- 理想像や整備方針を描き、投票しました。

ワークショップ風景



検討の成果



ワーク2 どんな新庁舎にすべきか？「新庁舎の理想像」 Dグループ

理想像のキャッチフレーズ
すべての人が行きたいと思う市役所 **赤シール18枚**

実現するためのポイント（基本方針）

- 効率的で利便性が高い（青シール2枚）
- わかりやすい（青シール1枚）
- 優しい・居ごちの良い・人を大切にする（青シール17枚）

青シール：合計20枚

○ワーク風景

● 成果を発表した後、賛同する理想像や基本方針に対して、投票いただきました。

○成果

● 理想像は、イラスト入りで描いてくれました。

ワーク2 どんな新庁舎にすべきか？「新庁舎の理想像」 Aグループ

理想像のキャッチフレーズ

歴史と未来の融合！ **赤シール16枚**

ワンストップ機能 **青シール5枚**

観光都市に成り得る街 **青シール6枚**

衛星都市に成り得る街→高度なインフラ機能 **青シール4枚**

変容可能なスペース（防災、イベント） **青シール1枚**

デジタル化の充実 **青シール1枚**

人口減少を食い止める！

市民サービスはワンストップで実現できるレイアウト **青シール：合計16枚**

○多くの賛同を得た「庁舎の理想像」

- ここに行くと三島のすべてが分かる!!（21p）
- すべての人が行きたいと思う市役所（18p）
- デジタルとアナログの共存する庁舎（16p）
- 歴史と未来の融合！（16p）

○多くの賛同を得た「基本方針（ポイント）」

- 優しい・居心地の良い・人を大切にする（17p）
- 外国人の方も利用しやすく（10p）
- 安全・安心（10p）
- デジタル化による効率化（8p）

<3回目の成果>

○理想像

- 三島が分かる
- 行きたい場所
- 新旧の融合・共存

○基本方針

- 居心地の良い
- 利用しやすい
- 安全安心
- 効率的

市民参加の形態（例）



○計画策定段階 委員会の設置（公募市民）・・・市長へ提言（焼津市）

**焼津市新庁舎建設基本構想
市民会議案**

平成27年2月

**焼津市新庁舎建設基本構想検討委員会
（市民会議）**

○ワークショップの風景

Aグループの作業風景 Bグループの作業風景

Aグループの発表風景 Bグループの発表風景

全体風景

○焼津市新庁舎建設基本構想検討委員会（市民会議）委員名簿

	委員区分	所属等
1	学識経験者	大学教授等（建築、防災）
2		大学教授等（産業・経済関係）
3		大学教授等（まちづくり、都市デザイン等）
4	各種団体	焼津市自治会連合会（焼津地区）
5		〃（大井川地区）
6		焼津商工会議所
7		大井川商工会
8		焼津漁業協同組合
9		焼津市社会福祉協議会
10	公募市民	市内在住
11		市内在住
12		市内在住
13		市内在住
14	市職員	焼津市財政部長



○公開の検討委員会を設置
 ○公募市民（委員）を募集
 ○学識経験者が委員長となり、庁舎整備構想（市民案）を策定。
 ○市長へ提言
 ○市は、提言をベースに、市の「整備構想・計画書」を策定する。

庁舎建設基本構想書（例） 焼津市民会議案



面積規模

建築計画条件

1 新庁舎建設の背景

整備の必要性

老朽化、分散化、バリアフリーの未対応等の問題を抱える。

施設区分	延床面積(m ²)	構造	建築時期	経過年数	耐震性(ランク)
本庁舎	4,944	S・RC 6階	S44 1969	46年	I a 免震補強済
旧議会庁舎	3,586	RC 4階	S43 1968	47年	解体予定
旧別館	1,966	RC 4階	S46 1971	44年	解体予定
大井川庁舎	3,759	RC 3階	S59 1984	31年	I a
アトレ庁舎	4,118	SRC・S9 階	H2 1990	25年	I b

※構造：S：鉄骨造、RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造
※耐震性(ランク)：I a：耐震性能が優れている、I b：良い、Ⅲ：劣る

現庁舎の課題

1. 躯体・設備の老朽化
2. 分散・狭あいによる市民サービスの低下
3. 高度情報化対応への限界
4. バリアフリー化対応の不足
5. 市民スペースの不足
6. 駐車場の不足

市民アンケート調査結果

現庁舎をどのように感じているか	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が足りない(45.1%) ・高齢者等が利用しにくい(30.9%) ・周辺の道路事情が悪い(28.6%) ・部署がどこにあるかわかりにくい(26.5%) 他
新しい市庁舎において重要視すること	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口手続きが行いやすい(70.0%) ・防災面に優れていること(64.3%) ・津波の影響を受けないこと(60.7%) ・駐車場が十分に確保されていること(59.9%) 他

2 新庁舎の基本理念と基本方針

整備方針

新庁舎の基本理念・基本方針・導入機能

基本理念	市民の安全と安心を守り、人と環境にやさしく、協働の拠点として市民に親しまれる庁舎
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての市民に開かれた庁舎 ○市民に親しまれ市民協働の拠点となる庁舎 ○新たなまちづくりにつながる庁舎 ○機能性・効率性の高い庁舎 ○地球環境にやさしい庁舎 ○防災拠点機能を備えた庁舎
導入機能	執務機能、窓口機能、議会機能、防災機能、職員に対する機能(福利厚生等)、市民に対する機能(交流の場等)、倉庫機能、環境との共生機能(省エネ等)、庁舎維持・セキュリティ機能、駐車場等機能

3 新庁舎建設の規模検討

15,100m²程度の規模を想定

庁舎規模算定

職員数	現状=649人(50年先:454人)
規模	約15,100m ²
算定方法	総務省地方債同意等基準運用要綱をもとに、将来の人口減少に伴う職員数の減少を鑑み、基準値の17,254m ² よりも小さい庁舎を想定。諸室の兼用、外部施設の活用などの「やりくり」を見込む。
やりくり特徴等	倉庫：当面は既存施設を活用 製図室：CADでの作業を想定。業務支援室と兼用 議場や交通部分は、多目的利用を見込む 防災機能：災害対策本部、防災倉庫、一時避難スペース等を確保 福利厚生室：医務室・更衣室等を国の基準を参考に導入。当面は共用を想定。

※CAD=コンピューターを用いた設計作業

4 建設候補地の検討

候補地選定

候補地は、現在地、文化センターエリア・総合病院エリアの駐車場用地の3箇所に絞り込む

建設候補地の検討方法

候補地抽出	現在地を含め、用地取得費用がかからない市有地を中心に8箇所選定
評価の視点	①防災面、②利便性、③まちづくり、④事業可能性の4つの視点から、8箇所を評価
現地調査	市民会議委員が直接、現地を確認し、上記視点から評価する
評価集計方法	①多数決、②各委員の評価の得点化、③計画地としてふさわしくない箇所の想定(▲)の3つの集計方法を用いて、候補地を選定

評価結果

	多数決	得点化	相応しくない箇所	全体評価
1 現在地	○	○	○	◎
2 アトレ庁舎エリア	-	-	○	-
3 大井川庁舎エリア	-	-	-	-
4 焼津駅エリア	○	○	-	-
5 西焼津駅エリア	-	-	○	-
6 保健センターエリア	-	-	○	-
7 文化センターエリア	○	○	○	◎
8 総合病院エリア	○	○	○	◎

※「多数決」=各評価項目の最も多かった評価結果を選定して集計
※「得点化」=最悪：2点、適：1点、問題あり：1点、ふさわしくない：2点として得点化し、小計が上位のエリアを選択
※「ふさわしくない箇所」=「ふさわしくない箇所」として意見の多かったエリアを「-」で表記

5 新庁舎の建設計画

配置可能性を確認

駐車場計画

現在	外来用143台 公用車用66台 計209台 (周辺敷地に分散して確保)
必要台数計画	静岡県内の23市の確保状況を参考に、人口1万人当たり約22台確保。 外来用225台 公用車用90台 計315台を想定

機能配置検討



現在地、文化センターエリア、総合病院エリアを対象に、駐車場の必要台数と庁舎面積(15,100m²)の配置計画を想定した。駐車台数を確保するために一部、駐車場の立体化を費用計上する

概算事業費の算定

現在地	現庁舎活用	67億円	現庁舎活用分だけ規模小さい
	解体新築	81億円	防災対策費用等見込む
文化センターエリア		86億円	既存の駐車場の立体化を加算
総合病院エリア		96億円	立体駐車場+防災へり対応を加算

機能確保における留意事項(設計時での配慮点)

- コンパクトでフレキシブルな庁舎づくり
- ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎づくり
- ライフサイクルコストを抑えた経済的な庁舎づくり
- 防災対策面での配慮 等

※フレキシブル=柔軟性がある
※ライフサイクルコスト=建物の、設計・建設費の他、運用費、一般管理費、保全費、修繕・更新費等、竣工後から解体廃棄までの期間にかかる総費用
※ユニバーサルデザイン=高齢の選い、老若男女の遊具、障害の有無を問わず、だれでも利用することができる設計デザイン

費用

要求事項

6 事業手法と今後の対応

事業手法

今後の対応における留意事項について

事業手法	従来方式やPFI方式の特徴を確認
資金確保	合併推進債等の活用可能な資金調達方法を確認
スケジュール	合併推進債活用の場合は平成30年度までに完了
設計者選定	プロポーザル方式等、選定方式の特徴を確認 市民会議で議論となった「庁舎面積規模・事業費」「防災対策」「デザイン性(フレキシビリティ等)」の観点から事業者を選定できる審査方法の設定の重要性を確認

※PFI(プライベート・ファイナンス・インシアティブ)=公共施設等の建築・維持・管理・運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法
※プロポーザル方式=設計者を選定する際に、複数の者から庁舎に対する企画提案をしてもらい、優れた提案者を選定する方法

市民参加の形態（例）



○設計者選定など「各種段階」での「意見聴取」の機会・・・（各務原市）

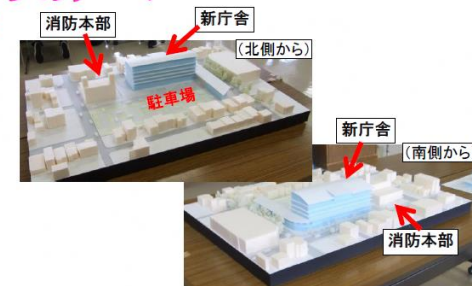
■実施された市民参加内容

- 1) 市民アンケート調査
 - ・利用実態を確認
- 2) 市民ワークショップ
 - ・各種意見聴取のため
- 3) 防災講演会の開催
 - ・構想策定委員長（有識者）より庁舎整備と防災まちづくりを学習
- 4) 基本計画案のパブコメ
- 5) 技術提案書への意見募集
 - ・任せてもよい設計者アンケート
- 6) ユニバーサル意見交換会
- 7) 基本設計市民ワークショップ
 - ・各務原らしさの設計への反映
 - ・模型による検討 他
- 8) かわら版による情報発信
 - ・検討状況の報告と問合せ先紹介
 - ・工事状況などの経過報告



- 設計者選定の段階
- 提案時のプレゼン・ヒアリングを公開（市民傍聴）
- 「技術提案書」を展示
- 提案に対するアンケートの実施
 - ・任せても良いと思う提案者とその理由
 - ・アンケート結果は、審査委員会の参考資料として活用
- 第二次審査委員会（非公開）にて審査選定

第2回市民ワークショップのテーマ 外部空間の活用について



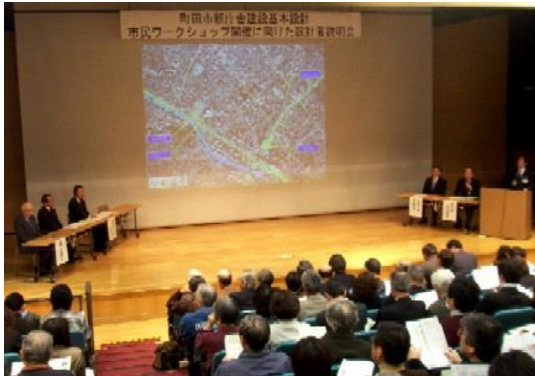
模型を使った配置計画案の説明



○設計段階での市民ワークショップ・・・設計の参加（町田市）

■設計案をもとに各種検討

- 設計者選定後、基本設計（原案）を説明・共有
- 配置、外観、空間構成などについて、設計者が直接市民と対話することで設計内容を検討した事例



- 市民WS前の「設計者説明会」
 - ・設計者から、設計内容の説明・質疑応答

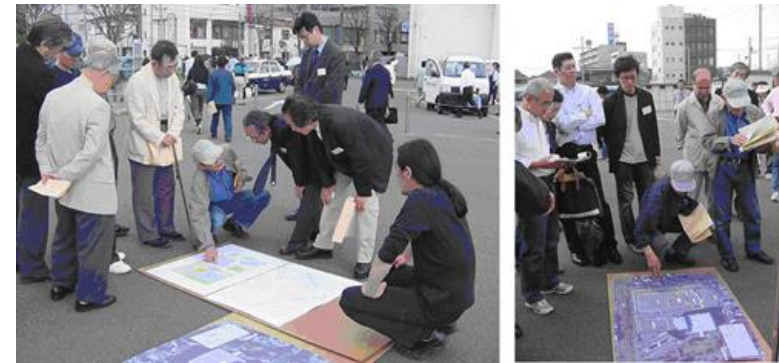
○協議成果を実施設計へ反映することを共有



■ワークテーマ（例）

○建設用地見学と1階部分の検討

- ・建設用地の見学、エントランスのイメージ体験他



○模型による検討

- ・設計者作成の模型により、庁舎の内外の空間構成の確認、検討（庁舎周りの広場・緑地等）





■全体テーマ＝「庁舎整備との関わり方」（いつ・どんな方法）

- ・今後の庁舎整備に対する市民意見の反映方法について確認します。

●ワーク1：「庁舎整備計画の策定段階」での関わり方

- ・計画策定では「整備方針」を定めます。計画を策定する段階において、「①市民参加の必要性、②方法、③特に協議すべき内容」を教えてください。

●ワーク2：「設計者の選定・設計段階」での関わり方

- ・庁舎の姿は設計者が描きます。設計者の選定時や、設計する時において、「①市民参加の必要性、②方法、③特に協議すべき内容」を教えてください。

●ワーク3：「整備後の管理運営段階」等での関わり方

- ・皆さんも利用する施設です。整備後の管理運営段階において、「①市民利用する機能場所、②利用方法や管理方法」を教えてください。
- ・その他「庁舎整備に対する」ご意見があれば教えてください。

■発表（ワーク1～3をとりまとめて）



■グループワークにより、問題点を整理・共有します。

■グループワークの進め方

○自分の意見、アイデアなどを付箋紙に記入します。

※1枚の付箋紙に、1つの意見を記入してください。

文章でなく、キーワードでもOK。

○付箋紙を模造紙に貼りだし、意見紹介、意見交換します。

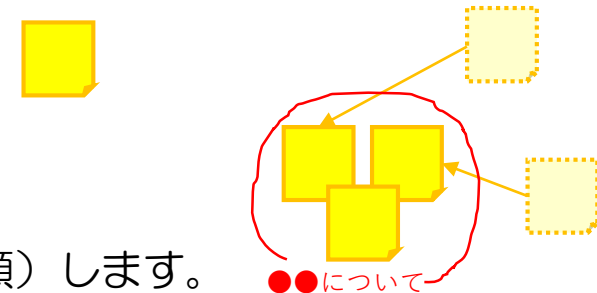
○意見交換しながら、同じような意見をグルーピング（整理整頓）します。

※グルーピングできない意見があっても構いません。

○グルーピングしたら、各グループ（まとめり）にタイトルをつけます。

※グループ同士の関係性を考え、矢印や記号を使って関係性を整理してみてください。

○最後に、全体をみながら、問題解決策やアイデア実現に向けた提言を考えます。



■グループワークのルール

○自己紹介や意見交換するときは、できるだけ簡潔に発言しましょう。

※皆さんから公平に多くの意見をいただきます。

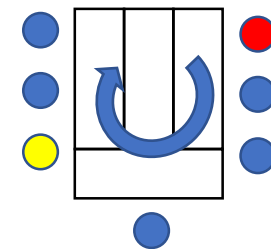
○人の意見やアイデアを尊重しましょう。

※特定の意見を否定したり、誹謗中傷することはNG。

※反対意見があれば付箋紙に記入し、その関係性や原因などを整理してみてください。



■ 「自己紹介」をお願いします。（時計まわり）



■ 「グループ3役」を決めてください。

①進行役（ファシリテーター）

- ・グループワークを進めるための司会進行をお願いします。
- ・皆さんから公平に多くの意見を発言し、意見交換できるようにしてください。

②進行役支援

- ・進行役を支援し、皆さんが模造紙に貼りだした付箋紙をグルーピング（整理整頓）してください。
- ・皆さんで意見交換した上で、各グループ（まとめり）にタイトルをつけてください。

③発表者

- ・最後に他のグループの皆さんへの発表をお願いします。

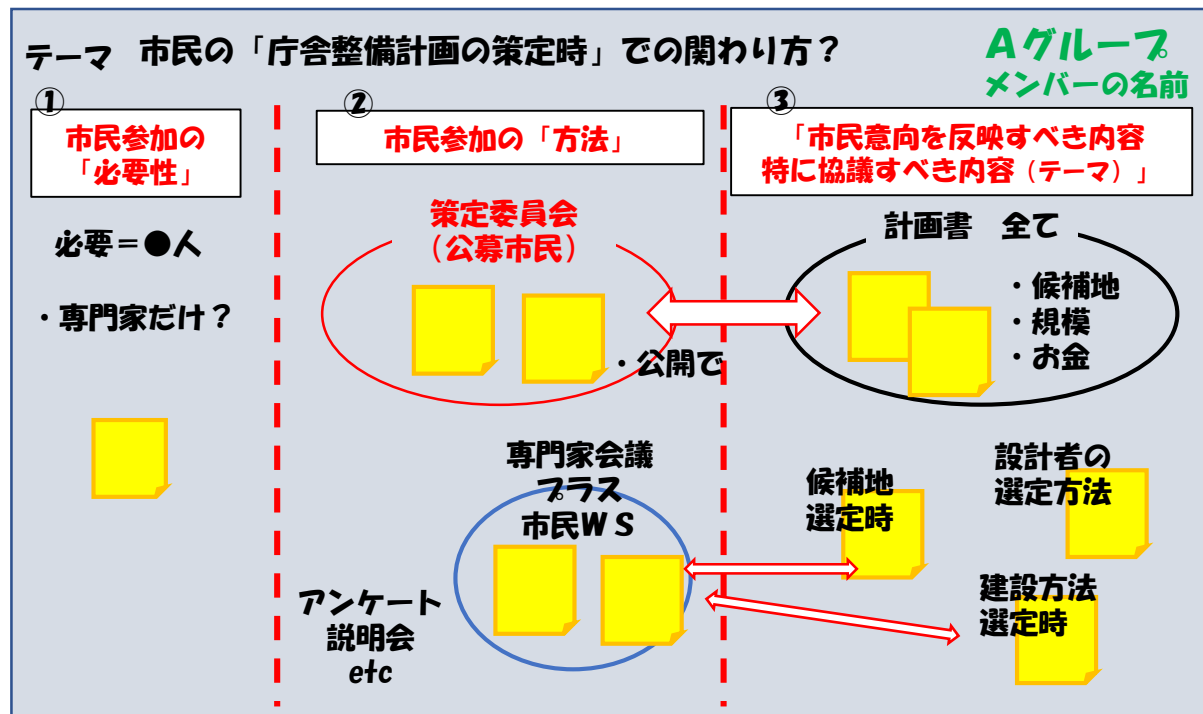
<補足>

- ・「グループ3役」も、自分の意見を付箋紙に記入し、意見交換に参加してください。
- ・「グループ3役」は兼務していただいても構いませんが、皆さんがいろいろな役を体験をしたり、それぞれの立場で3役を意識してワークしてみてください。
- ・【重要なこと】市民協働の場として、進行役をはじめ3役を支援し、皆さんで協力しながら、アイデアを発想したり、提言を考えてみてください。



■ 市民の「庁舎整備 計画策定時」での関わり方を教えてください。

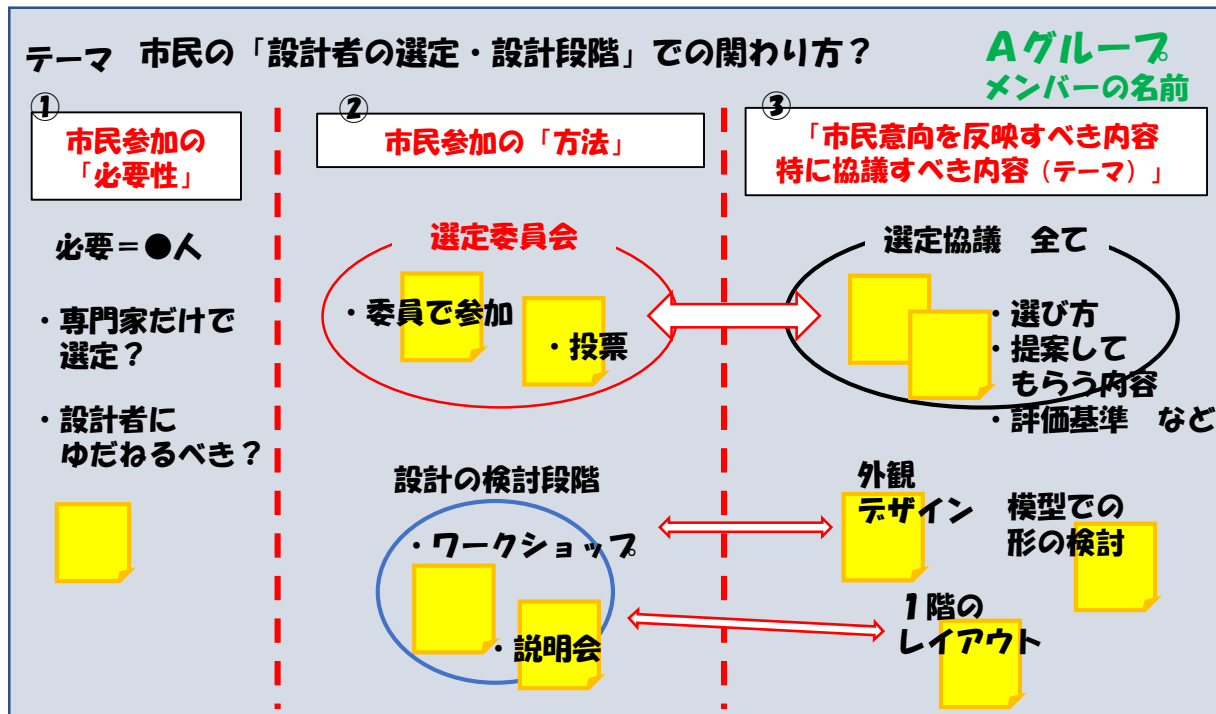
- ①計画策定時での「市民参加」は必要ですか？
グループメンバーの意見を確認してください。（2分程度）
- ②「どんな方法」での参加を望みますか？ （10分程度）
- ③「市民意向を反映すべき内容・特に協議すべき内容（テーマ）」は何でしょうか？ 自分の意見を付箋紙に記入してください。（10分程度）
- ④それぞれの意見を発表しあい、確認しましょう。
- ⑤付箋紙をグルーピングして整理してください。（3分程度）





■ 市民の「設計者選定・設計段階」での関わり方を教えてください。

- ① 設計者の選定時や設計段階での「市民参加」は必要ですか？
グループメンバーの意見を確認してください。（2分程度）
- ② 「どんな方法」での参加を望みますか？ （10分程度）
- ③ 「市民意向を反映すべき内容・特に協議すべき内容（テーマ）」は何でしょうか？ 自分の意見を付箋紙に記入してください。（10分程度）
- ④ それぞれの意見を発表しあい、確認しましょう。
- ⑤ 付箋紙をグルーピングして整理してください。（3分程度）

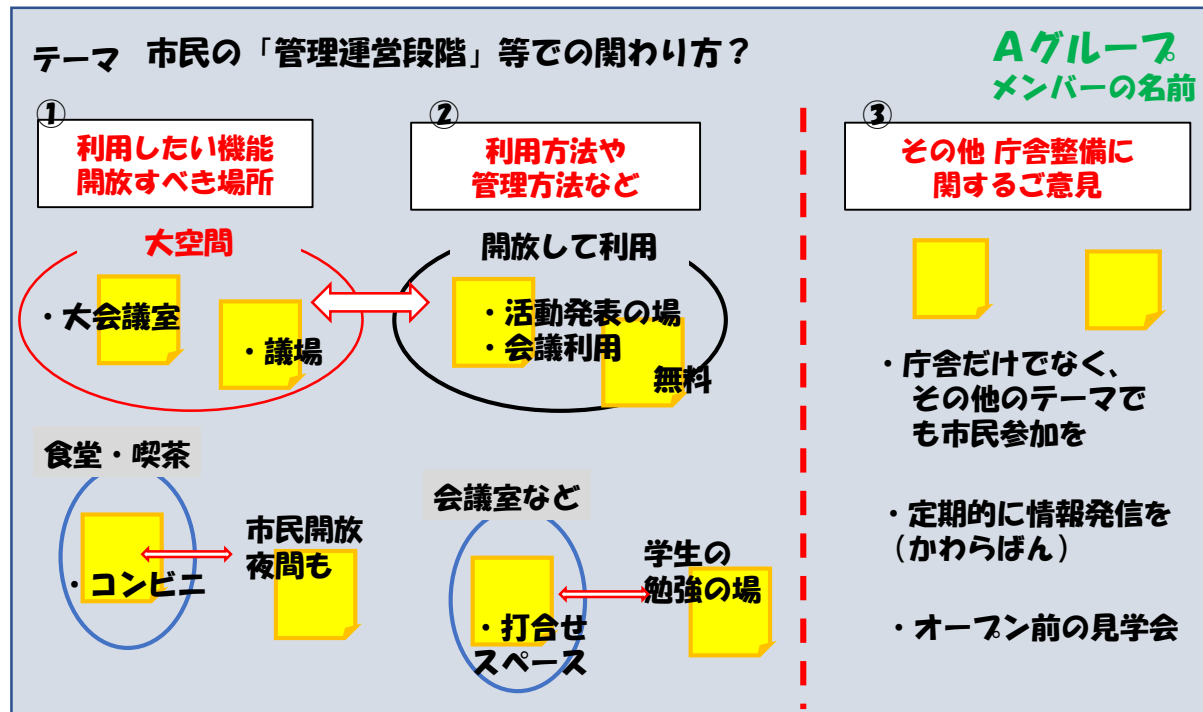


○まとめ方のイメージ



■ 整備後の「管理運営段階」等での関わり方を教えてください。

- ① 庁舎は市民の利用する施設です。
「皆さんが**利用したい機能・開放すべき場所**」などありますか？
- ② 「**機能（場所）の利用方法と管理方法**」を教えてください。（併せて13分程度）
それぞれの意見を発表しあい、確認しましょう。
- ③ 「**その他庁舎整備に対する**」ご意見について何かありますか？（8分程度）
- ④ グループの意見を整理し、発表の準備をお願いします。（4分程度）
※発表内容は、ワーク1～3の中から、一番盛り上がったワークを中心に報告ください。



○まとめ方のイメージ



■発表

発表を通して、それぞれのグループでどんな意見があったかを共有します。
(各班1～2分程度×6班)

ワーク1～3の中から、一番盛り上がったワーク内容を中心に発表ください。



- 5回の市民会議を計画しています。

回数	実施日	テーマ
第1回 (済)	2月1日(土) 13:30~	○趣旨説明 ○現庁舎を見て、知ってほしい。 (庁舎の見学と現庁舎の問題点を確認)
第2回 (済)	10月3日(土) 13:30~	○庁舎整備方法について検討します。 (庁舎整備方法を検討。建設地の選定条件の確認)
第3回 (済)	10月17日(土) 13:30~	○新しい庁舎に求めるものは何か？ ・必要な機能、市民利用の方法
第4回 (済)	11月7日(土) 13:30~	○市民はどのように庁舎整備と関わるべきか？
第5回	12月5日(土) 13:30~	○市民が考えた庁舎整備のとりまとめ ・ワークショップの成果をまとめ、 庁舎整備の重要事項を再確認します。



■次回開催案内

- 日時：2020年12月5日（土）13:30～
- 場所：社会福祉会館 4階 大会議室
- 内容：市民が考えた庁舎整備のとりまとめ
（庁舎整備の重要事項を再確認します）

■アンケート

事後アンケート調査にご協力ください。
御帰りの際に、事務局にお渡しください。

■閉会挨拶